



栃木県の裏アルプス？篠井富屋連峰に行ってみる
宇都宮アルプス(篠井富屋連峰)

実施日 2019年9月15日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 涌井 良明
 参加者 涌井良明、白石恵美子、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、徳山敬子、瀧澤きよの 計8名
 費用 JR3,880円(普通・東京起算)、1,420円 計5,300円
 タイム 宇都宮駅(8:18~30 )一里塚BS(9:10~15)こどもの森手前入口(9:45)展望台(10:25~30)榛名山(10:50~11:00)男山(11:20~12:20)飯盛山鞍部分岐(12:50)一里塚BS(13:55~14:20)宇都宮駅(15:00)

好天は有難かったが、真夏並みの暑さにすっかり意欲もそがれた歩きとなってしまう。すっかりサボリ癖が勝ったようだった。(^-)-☆

日光・宇都宮道路沿いのR119の徳次郎付近の一里塚BSで下車。BS直近の交差点から船生方面に歩く、真夏のような日差しが痛いぐらいだ、低山歩きにはきつい天気となってしまった。



30分ほどで子どもの森P手前の入り口から園内へキャンプ場から舗装路とショートカットで上へ向かってハイキングコースの道標に従って山道へ、日陰はそれなりに涼しいのがありがたい。しばらくで展望台に寄って下界と雲に隠れた日光方面を望む。登山道に戻り榛名山へ向かうが覆い被さるよ

うに盛り上がる峰は上につれてこれでもかとのガレも混じった急登で早くもなんてとこダ！ 榛名山頂には小さな小社が鎮座していた。一息後鞍部へ急下降してすぐに登り返して稜線を左に僅か



じった急な登降を繰り返すので意外と手強い道だ、ハイキングレベルと言うよりは山岳道レベルだろう。



50分の急登を登って山に着く、その眺めは広いピークだ、人影もなく人時間もな

にした。暑さ負け？で食欲もあまりないが山で食べるのは仕事なのでモグモグモグ・・・ 本山から飯盛山へは少し戻ってから、一気に植林の森を下っていく。低山帯でこんなに下っていいのかと思えるくらいである。下りきった鞍部は飯盛山、下篠井登山口からの道の合流ポイントであった。午後1時前距離的には残り半分強程か、暑さにめげて残りは次回の楽しみ？とすることもありか？などと言いつながり踏破したいメンバー3人に会いたため下山班と継続班と分れることに。

本隊は下篠井口へ向かうが、きれいな道は子どもの森への分岐からは殆ど手入れがなされていない生い茂った薄い踏跡を辿るになる、最近あまり歩かれていないようである。



それでもポイントに導標もあって踏跡を外さないように緩い下りをする。里も近くなって人家の脇の道に出た。登山口は更に山道を進んだ先だが、バス停に戻るの遠くにコンバイン刈入れを見ながら農道から今朝ほど歩いた車道へ、更にR119一里塚BSへ14時まえに着く。午後の日射しがキツイが日影で涼んでバスで宇都宮駅に戻る。お約束の宇都宮餃子とビールで疲れも癒して・・・

みなさん暑いなかお疲れ様でした。もう少し涼しくなっていると計画したが、実施時期をずらした方がヨカッタと思

い知らされた山だった。残りを涼しいときに歩いてもみたい！
 (記&写真・涌井 良明)